

危険物取扱者試験準備講習会



10月25日(日) 会員事業所を対象に本年度2回目となる危険物取扱者試験準備講習会を神戸天然物化学(株)出雲工場と出雲市消防本部の協力を得て開催しました。危険物を取り扱うエキスパートを目指し、真剣な眼差しの受講者でした。来年度も開催しますので受講下さい。

救命ボランティア大活躍



6月30日(火)、7月1日(水)、7月3日(金)の3日間、大社中学校の生徒を対象に救急法の講習会が開催され、協会から平日にもかかわらず、10名の救命ボランティアが協力しました。受講者の皆さんは、心肺蘇生法やAEDの取り扱いについて真剣に取り組まれていました。また9月25日(金)と11月12日(木)には会員事業所の普通救命講習にも救命ボランティアが活躍しました。ボランティア活動を通し協会が目指す救命、防災拠点をつくるため、地道な活動を続けてまいりますので、ご協力をお願いします。



危険物保安関係功労者定例表彰を受賞

6月18日(木) 浜田市三隅町「中国電力(株)三隅発電所ふれあいホール」に於いて、島根県危険物保安協会連合会より危険物保安関係功労者定例表彰があり、次の方が受賞されました。



個人の部 株式会社土井豆組 取締役 土井豆 和子様
個人の部 斐川町農業協同組合 自動車石油課長 福島 齊様
事業所の部 ダイイチ 株式会社様
事業所の部 山原石油様

少年消防クラブ員が消防長表彰を受賞

上級生が卒業した後一人で「火の用心」の広報巡回を6年間続けた功績により美保少年消防クラブの佐藤克哉くんが消防長表彰を受賞されました。本協会もクラブ員の模範であることから、記念品を贈呈しました。



12月22日(火) 塩津小学校にて表彰

第65回 宍道湖一周 駅伝大会選手の募集

協会活性化事業の一つとして今年も4月に開催される宍道湖一周駅伝大会に挑戦することとなり、出場選手を募集しています。出場希望の方は事務局までお問い合わせください。



危険物取扱者試験

- ▶ 第1回 甲種・乙種全類・丙種 【試験日】平成22年6月13日(日) 【試験実施地区】松江・出雲・大田・浜田・益田・隠岐
- ▶ 第2回 甲種・乙種全類・丙種 【試験日】平成22年11月7日(日) 【試験実施地区】第2回 松江・出雲・大田・浜田・隠岐
- ▶ 第3回 甲種・乙種全類・丙種 【試験日】平成22年11月14日(日) 【試験実施地区】第3回 益田
- ▶ 第4回 乙種全類 【試験日】平成23年2月6日(日) 【試験実施地区】松江・出雲・浜田・益田・隠岐

消防設備士試験(甲種・乙種)

- ▶ 甲種・乙種 【試験日】平成22年8月22日(日) 【試験実施地区】松江・浜田

●平成21年度 全国統一標語● 消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

連絡先/事務局(出雲市消防本部内) 住所 出雲市渡橋町253番地1 電話 0853-21-6922 Eメールアドレス boukakyukai@izumo119.or.jp

編集後記

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年も各種事業に会員皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ



この度、事務局の仕事を引き継ぐことになりました土江由紀子です。安心・安全な町づくりのためのお手伝いをさせていただきます。ご指導の程よろしくお願致します。



国土交通省四国地方整備局視察

新年の挨拶



会長 新藤 正人

平成22年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様には平素から当協会の運営につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の7月、内田前会長の退任に伴い会長に就任いたしました。今その責務の重大さを痛感し、微力ながら協会発展のため最善の努力を尽くす事を改めて決意したところでございます。

さて昨年は人災と思われる大阪市此花区のパチンコ店、静岡県浜松市のマージャン店、さらには東京都杉並区の雑居ビルなど、多数の死者、負傷者を出した火災が連続して発生し、また

山口県防府市、兵庫県佐用町に見られるような局地的豪雨により尊い多くの人命や貴重な財産が失われた大規模な自然災害も発生しております。

さらに近い将来必ず起きると言われる東海、東南海、南海の三つ子地震の予兆とも思える駿河湾地震も発生するなど、混沌とする近時の状況下において更なる地域貢献を目指し、積極的なボランティア活動等を展開するとともに、協会の理念である安心・安全な地域づくりに邁進する所存でございます。会員の皆様におかれましても地域の皆様の期待と信頼に答えるため、より一層のご尽力を頂きますよう心からお願い申し上げます。

終わりに会員の皆様が元気に安心して暮らせる年であることを祈念しまして年頭のご挨拶といたします。



事業

佐用町視察報告

有限会社藤原電気 藤原 靖司

何の変哲もないのどかな風景。佐用町に着くまでの道中は、どこにもあるような田舎の風景が続きました。しかし、佐用町駅へ着くなりいきなり衝撃の傷跡を目の当たりにしました。それは、駅舎に残る1m位の高さにある水没の跡です。町の中心の駅や駅前商店街、100mほど離れた町役場がこれほどまでに浸水し、町の機能がマヒした中、住民の皆さんは、さぞかし不安だったろうなと想像します。

佐用町へ着いてすぐに町役場へ行き、災害対策本部の上谷会計課長に当時の話を聞いたところ、豪雨当日、猛烈な雨が降り続いたときには、役場の職員も出庁できない状況で、情報も集まらず大変苦労されたとお聞きしました。その後、救援物資が集まる町の体育館へ行き、今でも週末にはボランティアの方が片付けのお手伝いに来られて、大変助かっているという事でした。

次に町の中心部から少し離れたところにある災害時の最前線である消防署へ行きました。佐用町消防本部次長の敏彦氏の話では、消防署の横を新内藤川位の川が流れており、そこが氾濫し消防署も浸水し、消防署前の道路も町の中心部へ行くための橋も濁流が流れており、水が引くまではどうすることも出来なかったそうです。自然の大きな力の前では、人間の力はわずかなものだと感じました。

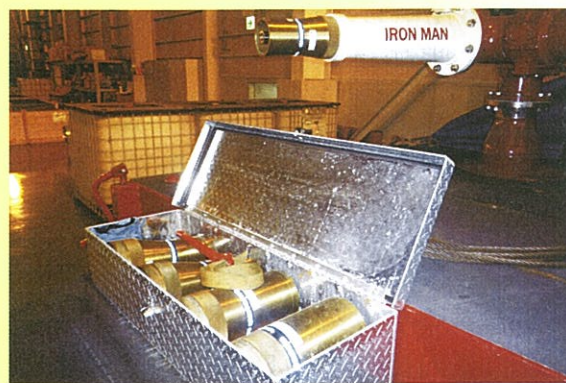
その後、町営住宅から200m程離れた小学校へ避難しようとして、数名の方が亡くなられた現場へ行きました。避難途中には川幅30m位の川があり、この橋には欄干がありここを通過したのち、並行して流れる50cm程の氾濫した用水で被災されたようでした。大きい川を渡り安心して小さな用水に呑み込まれて命を落とされ、さぞかし無念だったろうと思います。そこには今でも花束が手向けてあり、命の尊さ・大切さを改めて痛感しました。

私は、阪神淡路大震災の炊き出しや、福井で起きたナホトカ号の重油回収にも出かけ、災害の悲惨さを目の当たりにしましたが、私たちの住むこの出雲でもいつどのような災害が起こるかわかりません。自分の身は自分で守らなければならないと思います。その為にも普段から備えをするとともに私達もボランティア活動を通し地域に貢献しなければならないと感じた視察でした。



防災ボランティア 藤原 靖司
救命ボランティア 福原 恭治

大地震に立ち向かう大型泡放射システム



泡放射システム



参加者の皆さん

11月12日(木)、13日(金)に会員事業所から25名が参加し、四国方面への視察研修を実施しました。初日は香川県坂出市のコスモ石油(株)坂出製油所を視察し、担当者から石油精製の原理や設置されている防災設備等について説明を受けました。また、平成15年9月北海道十勝沖地震で発生した出光興産の屋外貯蔵タンク火災の教訓から長射程・大容量の泡放射システムが配備されるなど、迫り来る海洋型地震等から製油所を守るための万全の備えがなされています。

2日目は四国の防災拠点、国土交通省四国整備局を視察しました。ここでは、災害時における早期の道路、橋梁等の復旧業務のほか、被災地に派遣する防災エキスパートの養成に力を入れておられました。本協会でも防災エキスパート制度等を参考に、災害時、防災ボランティアを派遣できる事業を積極的に展開したいと考えております。

共催

(株)出雲村田製作所が二部門制覇

10月29日(木)一の谷公園自由広場を会場に第17回消火技術訓練大会を消防本部との共催で開催しました。この大会は、的確な初期消火の技術を競う大会で今年は女性の参加も増え消火器の部11チーム、屋内消火栓の部8チームの参加があり、白熱した大会になりました。大会結果は下記の通りです。来年もまた多数の参加をお待ちしています。



消火器の部 優勝 出雲村田製作所
練習したかいがありました。



消火器の部

- 優勝 (株)出雲村田製作所
- 準優勝 ヒカワ精工(株)
- 3位 ヒラタ精機(株)
- 4位 特別養護老人ホーム清流園
- 5位 JAIいすも ラビタ

屋内消火栓の部

- 優勝 (株)出雲村田製作所
- 準優勝 ヒカワ精工(株)
- 3位 ヒラタ精機(株)



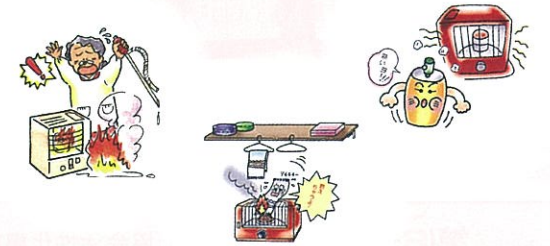
屋内消火栓の部 優勝 出雲村田製作所
優勝する自信がありました。

暖房器具の取扱いにご注意ください

寒い季節を迎え石油ストーブ・石油ファンヒーターを使用する機会が増えますが、毎年誤った取扱いが原因の火災や事故が多く報告されています。暖房器具の取扱いには十分注意しましょう。

火災・事故の主な原因

- ストーブの火を消さずに給油タンクに給油し灯油に引火
- カートリッジタンクのキャップ締付け不良のためストーブの火で引火
- ガソリンの誤給油により出火
- 暖房器具の周辺にあった可燃物の接触
- スプレー缶の過熱による破裂事故



ちびっこ達の日体験学習



8月4日(火)には夏休みの恒例行事となった第24回少年消防一日体験学習を消防本部と共催で開催しました。

出雲市や斐川町のクラブ員を中心に小学生140名が参加し、ロープを使用した救助体験や起震車による地震体験等を通して、クラブ員同士の交流や防災・防火について再認識し、有意義な1日となりました。

幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会

10月2日(金)防火意識の高揚と防火クラブの活動活性化を図ることを目的に消防本部との共催により、ビッグハート出雲で第6回幼年・少年・女性防火クラブ指導者研修会を開催しました。



ひかり保育園幼年消防クラブの演奏

今年は、小伊津町女性消防隊長の服部美佐子氏の女性消防隊活動報告や(株)吉谷代表取締役社長 大谷公夫氏の「安全安心を求めて」と題した講演をいただきました。

また、ひかり保育園幼年消防クラブの鼓笛隊による演奏が披露され、最後にクラブ員による「ぼくたち わたしたちは火あそびをしません」の防火の誓いで閉会しました。